

平成29年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量

- 全国の春植えばれいしょの収穫量は、前年産に比べ9%増加 -

【調査結果の概要】

1 全国

作付面積は7万4,400haで、前年産並みとなった。

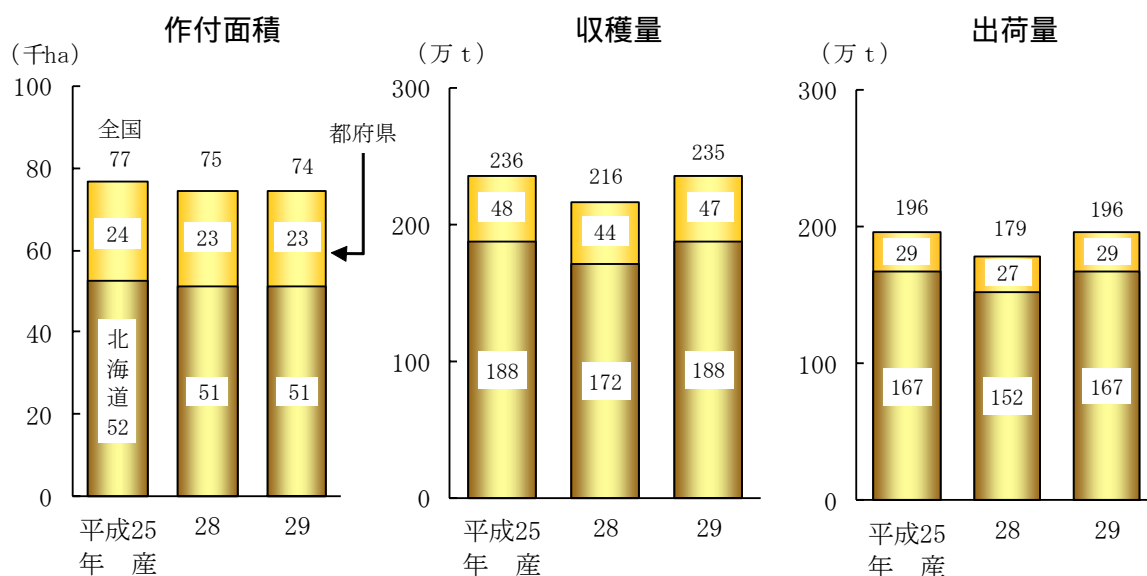
収穫量は235万t、出荷量は196万1,000tで、前年産に比べそれぞれ19万2,000t（9%）、17万4,000t（10%）増加した。

2 北海道

作付面積は5万1,200haで、前年産並みとなった。

収穫量は187万9,000t、出荷量は167万3,000tで、前年産に比べそれぞれ16万4,000t（10%）、15万2,000t（10%）増加した。

図1 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）



注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

○ 本資料は、平成29年12月6日に公表した『平成29年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量（都府県）』に北海道の数値を加えた全国の作付面積、収穫量及び出荷量である。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 野菜を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

1 全国

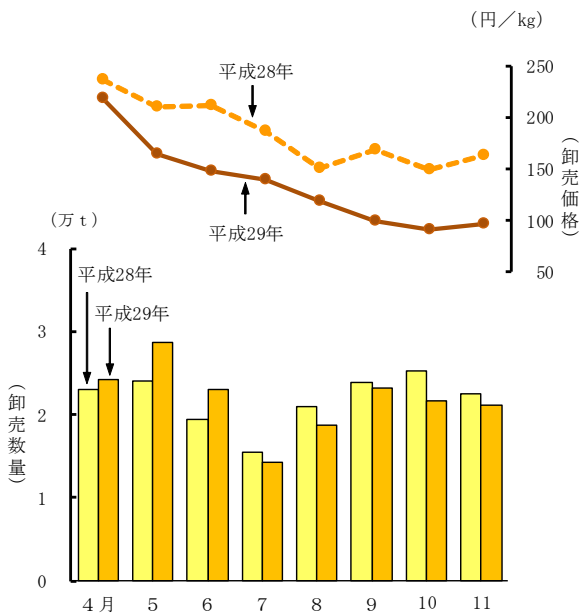
2 北海道

年 産	1 全国				2 北海道			
	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成20年産	82,000	3,290	2,697,000	2,218,000	55,200	3,860	2,131,000	1,899,000
21	80,300	3,000	2,412,000	1,967,000	54,400	3,480	1,893,000	1,673,000
22	79,600	2,810	2,237,000	1,824,000	54,100	3,240	1,753,000	1,549,000
23	78,000	3,000	2,339,000	1,925,000	53,100	3,470	1,843,000	1,634,000
24	78,300	3,130	2,447,000	2,021,000	53,400	3,630	1,938,000	1,716,000
25	76,900	3,070	2,360,000	1,963,000	52,400	3,580	1,876,000	1,668,000
26	75,500	3,190	2,409,000	2,019,000	51,500	3,720	1,916,000	1,715,000
27	74,600	3,170	2,365,000	1,974,000	51,000	3,740	1,907,000	1,698,000
28	74,600	2,890	2,158,000	1,787,000	51,200	3,350	1,715,000	1,521,000
29 (概数)	74,400	3,160	2,350,000	1,961,000	51,200	3,670	1,879,000	1,673,000

資料：農林水産省統計部『野菜生産出荷統計』

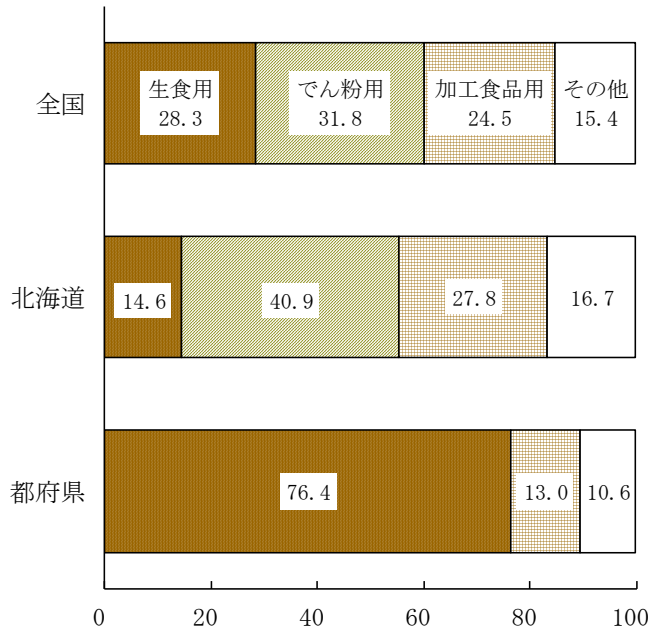
◎ 関連データ

1 ばれいしょの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



資料：農林水産省統計部『青果物卸売市場調査（日別調査）』
注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである。

2 ばれいしょの用途別消費量割合（平成28年産（概数））



資料：農林水産省政策統括官『いも・でん粉に関する資料』(%)
注：1 でん粉用は北海道のみである。
2 その他は種子用、飼料用等である。

【調査結果】

1 全国

- (1) 作付面積は7万4,400haで、前年産並みとなった。
- (2) 10a当たり収量は3,160kgで、前年産に比べ270kg（9%）上回った。
これは、作付けの多い北海道において、おおむね天候に恵まれ、台風による被害等があった前年産を上回ったためである。
- (3) 収穫量は235万t、出荷量は196万1,000tで、前年産に比べそれぞれ19万2,000t（9%）、17万4,000t（10%）増加した。
- (4) 都道府県別にみた収穫量割合は、北海道が全国の約8割を占めている。

図2 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

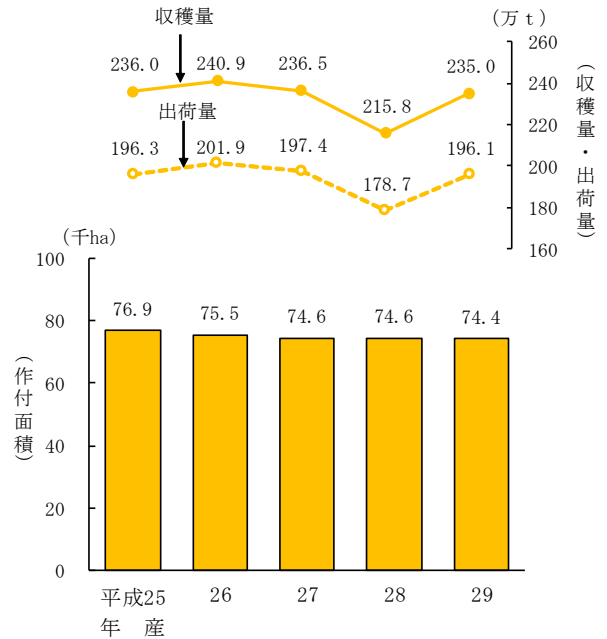


図3 春植えばれいしょの都道府県別収穫量

2 北海道

- (1) 作付面積は5万1,200haで、前年産並みとなった。
- (2) 10a当たり収量は3,670kgで、前年産に比べ320kg（10%）上回った。
- (3) 収穫量は187万9,000t、出荷量は167万3,000tで、前年産に比べそれぞれ16万4,000t（10%）、15万2,000t（10%）増加した。

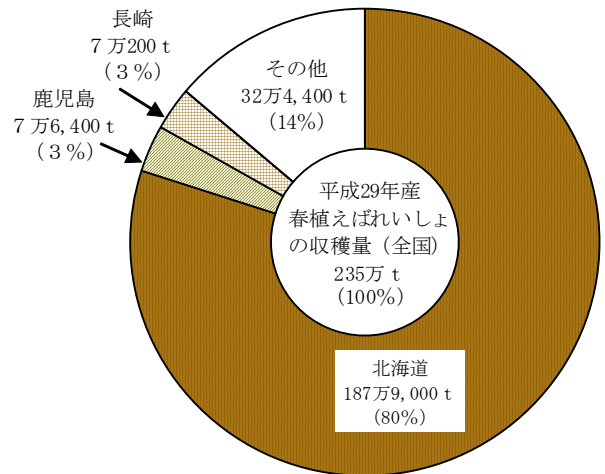


表 平成29年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

区分	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
全国	74,400	3,160	2,350,000	1,961,000	100	109	109	110	104
うち 北海道	51,200	3,670	1,879,000	1,673,000	100	110	110	110	103

注：「(参考) 対平均収量比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【統計表】

平成29年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	作付面積	10a 当 た り 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考)
					作付面積	10a 当 た り 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対平均 収量比
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
全 国	74,400	3,160	2,350,000	1,961,000	100	109	109	110	104
北 海 道	51,200	3,670	1,879,000	1,673,000	100	110	110	110	103
青 森	751	2,480	18,600	13,800	99	102	100	99	114
福 島	1,070	1,790	19,200	2,570	98	99	97	98	100
茨 城	1,540	2,910	44,800	37,400	101	94	95	94	101
千 葉	1,210	2,460	29,800	24,700	98	106	104	105	106
長 野	1,110	1,940	21,500	1,810	99	95	93	101	94
静 岡	537	2,210	11,900	9,890	96	95	92	92	94
三 重	181	1,110	2,010	1,270	102	88	90	91	80
岡 山	209	1,250	2,610	450	99	104	103	103	101
広 島	357	1,340	4,790	1,190	98	100	98	88	96
佐 賀	122	2,050	2,500	1,720	95	104	98	101	104
長 崎	2,590	2,710	70,200	61,200	97	108	105	105	99
熊 本	553	2,130	11,800	8,200	100	107	107	111	103
宮 崎	499	2,490	12,400	11,600	96	117	112	112	103
鹿 児 島	3,840	1,990	76,400	69,200	103	124	127	129	102

注：1 都府県の数値については、平成29年12月6日に公表したものである。

2 「(参考) 対平均収量比」とは、10a当たり平均収量(原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の野菜調査として実施したものであり、春植えばれいしょの作付面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における野菜を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業災害補償法に基づく共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査(直近では作付面積調査及び収穫量調査ともに平成28年産)を作付面積調査は3年、収穫量調査は6年ごとに実施しており、中間年にあつては全国調査年における作付面積の全国値のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、野菜指定産地に指定された区域を含む都道府県、畑作物共済事業を実施する都道府県又は特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を実施する都道府県を調査対象(主産県)としている。

なお、平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を出荷量から作付面積に変更し、野菜指定産地の面積要件を満たす区域を含む都道府県を要件としていたものを野菜指定産地に指定された区域を含む都道府県に変更した。

(2) 調査対象者の選定

ア 関係団体調査(全数調査)

春植えばれいしょを取り扱っている全ての農協等及び野菜生産出荷安定法(昭和41年法律第103号)第10条第1項に規定する登録生産者とした。

イ 標本経営体調査(標本調査)

2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農林業経営体から無作為に抽出をした。

なお、都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が80%を超えている場合は、調査を行わない。

(3) 調査対象者数

関係団体調査			標本経営体調査				
団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
団体 455	団体 366	% 80.4	経営体 17,589	経営体 1,400	% 8.0	経営体 832	% 59.4

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において作付けがなかった標本経営体等を除いた数である。

3 調査事項

- (1) 関係団体調査
春植えばれいしょの作付面積及び出荷量
- (2) 標本経営体調査
春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、春植えばれいしょの主たる収穫期間は、次のとおりである。

区分	主たる収穫期間
都府県	平成29年4月～8月
北海道	平成29年9月～10月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

- (1) 都道府県値
作付面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。
収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに作付面積を乗じて算出している。
出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。
- (2) 全国値
本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成28年産の調査結果に基づき、次により推計した。

$$\text{全国値} = \frac{\text{平成28年産の全国値} \times \text{当年産の調査対象都道府県値の合計値}}{\text{平成28年産における当年産の調査対象都道府県値の合計値}}$$

7 実績精度

本調査の収穫量に係る調査結果（主産県計）の実績精度（標準誤差率の推定値）は1.2%である。

8 用語の解説

- (1) 作付面積とは、は種又は植付けをしたもののうち、発芽し、又は定着した延べ面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者が自家消費した量、生産物を贈与した量、収穫後の減耗量及び種子用又は飼料用として販売した量を差し引いた重量をいう。
- (4) 統計表の「(参考)対平均収量比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

10 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7桁 (100万以上)	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)
四捨五入する桁(下から)		3桁	2桁		1桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- (2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成29年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量」(農林水産省)による旨を記載してください。

11 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載(平成30年12月予定)するとともに、その後刊行する『平成29年産野菜生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「野菜」の「作況調査(野菜)」で御覧いただけます。

【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/index.html#y5】

【関連リンク】

野菜関係ページ:農林水産省>組織別から探す>生産局>園芸作物(野菜・果樹・花き)>野菜のページ
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/>

お問合せ先

本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電 話:(代表)03-3502-8111 内線3680
(直通)03-6744-2044
F A X: 03-5511-8771

農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電 話:(代表)03-3502-8111 内線3589
(直通)03-6744-2037
F A X: 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>